



Anita Goswami

インド出身のヨーガ指導者でイギリス「ライフ財団」のスクールオブセラピーの副代表である。
イギリス国内の他のヨーガ指導者の3人のそれぞれの方から山口超禅氏の講演を希望されたことにより、それを受けてアニタ氏ほか4名の財団幹部の方と来日してイギリスにおける1995年の国際大会でのワークショップ講演を依頼した担当者である。

21 September 1995

C/o 15 Holyhead Road
BANGOR, N Wales
LL57 2EG

Dearest Sensai Chozen

Greetings from the sacred land of Wales. Although the conference was over a month and a half ago the love that was generated on the occasion lingers strongly. People are still talking about the event and many have asked whether you will return with your wonderful students. Your workshop was an unprecedented success - it touched many hearts so deeply. We look forward to seeing you here next year.

I want you to know that our time with you was deeply cherished. Sensai Manny wears you bracelet mala and often brings you into his conversations with people. He asked me to convey to you his deepest love and respect.

With deepest respect to you all.

Much Love

Anita.

もっとも親愛なる超禅先生

ウェールズの聖なる地よりご挨拶申し上げます。あの国際大会はもう一ヶ月半も前のことですが、あのとき生じた愛は強く留まっております。我々はいまだにあの大会のことを話しておりますし、多くの者が先生と先生の素晴らしい生徒達と一緒にまた戻って来られるのかどうかを訊いてきます。先生のワークショップ講演は先例のないほどの大成功でした。

それは多くの人々の心の琴線に触れたからです。私たちは来年再びこのイギリスの地でお目にかかれるのを待ち望んでいます。知っていただきたいことは先生とご一緒できた私たちの時間は大変大切なものだったのです。

ヨーガ指導者でライフ財団代表のパテル博士は超禅先生からいただいた数珠のブレスレットを常に身に付けていて、我々の会話の中でしばしばこのことを話しています。パテル博士が私に超禅先生に対して持っている彼の深い愛と尊敬を伝えて欲しいと言ってきました。

先生に深い尊敬の念をもって

アニタ



2000年 喜多見道場にて
アニタ氏、モニカ氏とともに



1993年 アニタ、キャロル、アンドリュー、ジョンの
財団幹部の方たちと成城本部道場にて